

令和7年度CNF実用化推進事業費 予算概要

令和7年度CNF関連諸施策の展開にあたって

本市では、令和元年11月に「富士市CNFプラットフォーム（以下、PF）」を設立し、PFが主体となり、CNF関連諸施策を展開している。令和7年度は、「富士市CNF関連産業推進構想」の「第3期アクションプラン（以下、AP）（R7～R9）」の初年度にあたることから、これまでの事業を精査するとともに、新たなフェーズに進展すべく、本市のCNFに取り組む環境等を有効に活用し、更なるPF会員連携の促進、技術・製品等の創出、国内の拠点を目指す取組を積極的に実施する。

《CNFを取り巻く実用化動向等》

CNFをはじめとするセルロース材料を活用し、自動車や家電等、市場インパクトやカーボンニュートラルへの波及、質と量を伴う技術確立・製品開発、リサイクルシステムやサーキュラーエコノミーの実現等に向けた取組を進める必要性

－ 懇話会等からの意見・助言など －

- ・ マッチングとオープンイノベーションの場の創出が重要
- ・ 異分野・異業種、スタートアップ等との連携・共創の機会
- ・ 成功事例の蓄積によるブランド化やプロモーションを通して、他の事業者の認知度向上や新規参入を促進
- ・ 企業のビジネスを後押しする環境づくり、拠点形成の後押し

《CNFに関する拠点形成に向けて》

令和6年10月に、静岡県と富士市は連携して、国際展示会を開催し、市内外から約2,000人が来場した。「CNFのまち ふじ」のCNF等セルロース材料を基軸とした産業エコシステムを有する国内拠点化を進める。

《第3期アクションプラン》（R7～R9）

目 標 CNF等セルロース材料を基軸とした産業エコシステム拠点の形成

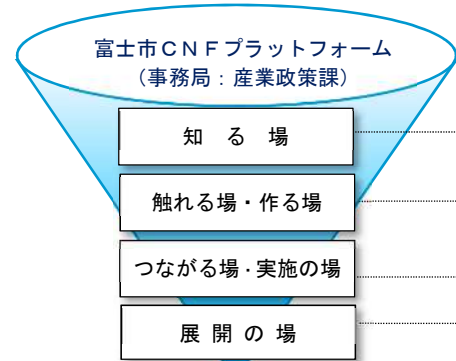
Action1 認知度の向上・活用に向けた裾野の拡大

Action2 マッチングとオープンイノベーションの場の創出

Action3 実用化事例等の掛け算によるビジネス化の後押し

▼PFの事業コンセプト

PF会員連携を強化するとともに、新規参入の後押しや異分野・異業種、スタートアップ等の連携が重要な産学官等の連携により「CNFのまち ふじ」の国内拠点化を目指す。



懇話会や市内事業者・PF会員からのアンケート調査等を反映し計画

令和7年実施事業（★は新規事業、☆は拡充・変更事業） 小事業予算額：23,540千円

知る場：CNFの普及啓発、理解促進に資する事業

《富士市CNF-PFセミナー2025》 報償費190千円、委託料584千円 他 PF会員対象のセミナーを会員以外も対象に拡大し、広くCNFへの理解促進、基本的知識の習得を目的に開催	《CNF普及推進チーム活動》★ 報償費580千円、印刷製本費39千円 普及推進員、PF会員企業等でチームを組み、出前講座等の実施により、市民レベルでのCNF普及啓発を図る。	《PF会報誌作成》 印刷製本費65千円 PFの活動や企業の取組等を紹介し、CNFの普及啓発・理解促進を図る。	《CNFウェブサイト運営》 委託料1,558千円 CNFの基礎情報、PFの紹介やセミナー案内等をアップしたウェブサイトの運営費
---	---	---	--

触れる場・作る場：CNFの活用に向けたサポート事業

《産学連携CNFチャレンジ補助金》 補助金3,000千円（1,000千円×3件） CNFの用途開発・研究を促進するため、高等教育機関や研究機関、CNF製造企業との共同研究・開発費用の一部を補助する。 ・補助金交付実績を踏まえた件数設定	《CNF等活用における大学共同研究講座等開設補助金》★ 補助金1,000千円（1,000千円×1件） CNFの用途開発・研究を促進するための人材の育成・確保を目的に、大学等高等教育機関と連携し、共同研究講座の設置・運営等に係る費用の一部を補助する。
《富士市CNF連携拠点活用補助金》★ 補助金1,000千円（250千円×4件） 富士工業技術支援センターは、企業向けに無償でのCNFサンプル提供事業を開始したことから、同拠点を活用し、提供を受けたサンプルを用いた試作、用途開発、技術相談等に係る費用の一部を補助する。 （効果） ・CNFに「触れる」機会の拡充と後押し ・拠点連携の強化（富士工技、東大、静大等）	《富士市CNFブランド製品等活用勉強会》 報償費60千円、消耗品費30千円、印刷製本費16千円 CNFの応用が見込まれ、当市の産業と関連が深い市場分野やPF会員の素材シーズ（富士市CNFブランド認定素材製品等）に特化した利活用に関する勉強会を開催する。 勉強会は、出口テーマを明確にし、本気度の高いPF会員等によるクローズな環境において、CNFの特性等のデータの共有や応用事例等を把握し、研究開発やものづくりにつながるネットワーク体制の構築に繋げる。
	《DXによるCNFマッチング・オープンイノベーション促進事業》★ 委託料8,000千円 ①CNF事業シーズピッチ★ CNFを認知していない層やスタートアップ等を対象に、CNFの認知度向上及び共創パートナーの探索を目的としたピッチイベントを開催する。 ②CNFマッチング★ ピッチイベントを受け、CNFシーズ企業とスタートアップ等との個別面談・マッチング会を開催する。

つながる場・実施の場：CNF関連製品・産業創出に向けた連携・ネットワーク構築に資する事業

《富士市CNF連携拠点活用事業》★ 委託料2,000千円、消耗品費30千円、負担金6千円 PF会員の大学等研究者や企業等の連携により、ビジネス化を後押しする実証事業等を実施する。 （事業例） ・サーキュラーモデルにおける性能等検証 ・環境貢献・環境性能モデル実証 ・出口（目的、機能）にあった用途開発実証 ・森林資源の活用実証	《PFビジネスマッチング展示会》★ （ふじのくにセルロース循環経済国際展示会） 報償費120千円、委託料1,649千円、印刷製本費26千円 ふじのくにセルロース循環経済国際展示会において、静岡県と連携し、大学等研究シーズの出展や来場者とPF会員等とのビジネスマッチング会を開催する。 大学等の研究シーズ集を制作するとともに、展示会における個別相談の設定等を支援する。	③オープンイノベーション型共創支援 マッチングを受け、共創・協業パートナーとどのようにCNFを使うのかの議論や新しい活用方法を見出したり、技術のすり合わせを行う「オープンイノベーション（OI）」活動を行う。 ※以上の①～③をリアル及びデジタルプラットフォームの併用で実施する。 （効果） ・CNFの裾野拡大、新しい分野・企業参入 ・効率的かつ効果的なマッチング ・企業のOIの理解促進と事業への導入
---	--	---

展開の場：富士市発CNFブランドの価値を高め社会・市場に広める事業

《PF活動プロモーション推進事業》 委託料2,336千円、普通旅費77千円 東京ビッグサイトなどを会場とした展示会は、サプライヤーやユーザー、研究機関など、多くの出展者や来場者が集うビジネスマッチングの場となっている。PF活動と会員の技術・製品等の紹介・PRによる「CNFのまち ふじ」のプロモーション活動を展開する。	また、同展示会における来場者増に向け、スマホの位置情報等を利用し、CNF等に関心・興味がある層やビジネスターゲットに対し、効果的・効率的な広報展開（ジオターゲティング広報、検索エンジン広告等）を行い、CNF関連事業への集客・誘客を図り、ひいてはCNFのまちの認知度を高める。	《富士市CNFブランド認定事業》 報償費60千円 他 市民等に対するCNF関連製品の価値や意義を認知する機会となるとともに、認定者はビジネスツールとして活用する。継続した製品等の認定とブランドマークの活用により、富士市発CNF関連技術・製品のプロモーション効果を創出する。
--	---	---

上記以外の取組：NCJ・東大・静大・静岡県と連携した実習セミナー、CNF関連産業推進懇話会（1回／年）、他地域のセミナー等での富士市の取組紹介（講演）や情報収集、NCJ（総会開催）や他地域推進組織等との連携強化 など